

2011 アートマイル 報告書

日本学校名[金沢市立額小学校] 担当教諭名[小崎 桃子] (6年 2 組 34名)
 交流相手国[インドネシア]
 海外学校名[Perak Barat 小学校] 担当教諭名[Ika]

■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した時間 総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように。 必要に応じて行を追加して ください。	総合	金沢を知り日本を知り世界を知ろう	40

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	地域の祭り
絵に込めたメッセージ 作品展示の際に掲載 することがあります。	お互いの国に伝わる文化の中から、今回は祭りに着目して調べた。日本側から紹介する祭りの特色として、「季節性がある祭り」「動きや踊りのある祭り」などがある。相手国との有効の証として、円状の虹を半々に描いたり、互いの国旗の間に「friends」と半分ずつ書いたりした。

半分描いた絵と完成作品の画像を貼付してください。 ※Web 公開しますので児童の顔などの扱いにご注意ください。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・ TV会議をすることで、相手意識が高まり、自分の英語でなんとか伝えようという思いが高まった。 ・ 国際交流をこれまでで一番身近に考えた活動だったようである。これからの、外国との付き合い方を考え、平和な世界を築き上げていく意識をもつことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ メールなり、フォーラムなり、相手の反応が見えないため、子どもたちの意欲が続かない。相手国について調べるなど工夫はしたが、2～3ヶ月も連絡がないと、さすがにこっちを打つ手がない。 ・ 最後に絵が届かないと、活動を消化できた気がしない。相手国はこっちの卒業式に間に合わせる意識があったのか？(連絡は何度もした。)

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
保護者の方に、学級だよりで数回お知らせした。 (子どもたちの活動の様子や、日記、TV会議や英訳したPPがアップされた you tube のアドレスなど)	直接的には特になし。 「お父さんが you tube でみていた。」ということ、児童から一件聞いた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	6月 7月	・ゲストティーチャーを呼んで話を聞く ・相手にいつでもプレゼントできるよう、百万石まつりのステッカーを作った。	「なぜ国際交流をするのか」という考えを今まで考えてこなかった子どもたちにとっては、絵を描くことで心がつながり、将来の世界平和につながる活動があると知りとても関心をもったようだ。	総合6
情報収集	9月 10月	・インドネシアについて調べ学習を行った。グループごとに、一枚の模造紙にまとめ、教室に掲示した。 ・TV会議にそなえ、自己紹介の準備をした。クイズをつくらしたり、小学校の紹介文を英語で言えるようにしたり、いろいろな練習をした。	日本と違う習慣・文化に、とてもおどろいていた。調べ学習のしかたも上手になり、スムーズに活動を進めていた。 英語に自信がない児童が多かったが、短文だったため、何度も練習するなかで自信をつけていったようである。	総合13
テーマ検討	11月 12月	・一人ひとり興味があるお祭りを選び、プレゼンを制作した。 ・2回目のTV会議でこちらの絵の構図を見せ、相手に確認した。	TV会議でようやく絵のことを話すことができた。	総合5
制作	12月	・グループごとに分かれて絵を書き進めた。クリスマスカードと折り鶴を制作し、完成した壁画と共に送った。 ・以前作ったプレゼンを、英訳し、you tube にアップした。	やっと壁画制作に取り組めるので、とても喜んでいった。グループで相談しあい、丁寧に作業を進めていった。カードを送るなど、相手に自分が作ったものが届くワクワク感を感じていた。英訳は大変そうだったが、有名な you tube に自分がつくったものがアップされることがうれしかったようである。	総合10
鑑賞	3月	鑑賞はしていない。(隣のクラスの壁画を卒業式で見た。) そのかわり、台湾の小学校が来校するというので、その準備に奮闘した。各教室を英語で3文程度考え、言えるようにした。給食では英語の教科書やジェスチャーをもとに、交流をした。	学校創立以来、初の海外のお客さんをむかえ、とてもはりきって準備をしていた。最初は緊張してなかなか話せなかったが、勇気を出して知っている単語をつなげて質問をしていた。給食を食べ終えたころには打ち解け、短い時間であったが、とてもよい経験になったようだ。台湾に行きたい、また交流したいと前向きに考えている児童が多かった。	総合6

■学習目標と成果はどうでしょうか？

「重視」には指導にあたって重視した順位を数字で記入してください。

「先生の手応え」の評価 (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:まったく関連がなかった)

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解	1	5・4・③・2・1	相手に伝えるために詳しく自分たちの身近な祭りについて調べた。改めて調べてみると知らなかったことが多く、自分の地域に関心をもつことができた。
異文化の理解	2	5・④・3・2・1	交流相手の文化や生活が自分たちと似ているところと違うところがあることが分かって、相手に対する関心が深まった。
コミュニケーション力(説明・共感・英語)	3	5・4・③・2・1	全員が英語で自己紹介をした。7月に作ったパワーポイントのプレゼンを自分で英訳することができた。
情報活用能力(情報収集・発信)	4	⑤・4・3・2・1	インドネシアの文化について調べるとき、自分たちの力で国土や言語など、様々な情報を収集し、まとめることができていた。
人間関係をつくる(学級内・交流相手)	5	5・4・③・2・1	TV会議の自己紹介の時には、最後まで元気よく返事をしていた。
協働する力(役割分担・協力)	7	5・④・3・2・1	クラスを8グループにわけ、絵のデザインを協力して考えていった。
学習を追究する意欲	8	5・4・3・②・1	相手国からの連絡がほとんどなく、学習に対する関心もなくなった。
表現力(伝えたいことを絵で表す)	6	5・④・3・2・1	絵で交流するという斬新な活動は興味があったようだ。どんなデザインにすればよいかどんな色合いにすればよいか考えていた。
作品を鑑賞する力	9	5・4・3・2・①	相手国からいまだに返ってこないため、鑑賞はできず。他の作品はHPなどで見た。